



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月22日

上場会社名 カゴメ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 2811 URL <http://www.kagome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 秀訓
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長 (氏名) 長井 進 (TEL) 03-5623-8501
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	46,276	2.4	2,682	△4.3	2,820	△9.9	1,774	△8.9
22年3月期第1四半期	45,197	△7.0	2,802	86.2	3,129	86.0	1,948	181.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	17	84	—	—
22年3月期第1四半期	19	59	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	159,042	—	88,555	—	54.7	874	50	
22年3月期	134,005	—	89,418	—	65.7	885	16	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 86,985百万円 22年3月期 88,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
22年3月期	—	—	—	15	00	15	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	15	00	15	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	97,000	2.6	4,400	△17.1	4,600	△18.4	2,700	△17.5	27	14
通期	177,000	2.9	6,900	7.9	7,300	△0.1	4,000	34.2	40	21

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、添付資料6ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	99,616,944株	22年3月期	99,616,944株
23年3月期1Q	148,521株	22年3月期	148,071株
23年3月期1Q	99,468,692株	22年3月期1Q	99,471,101株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 連結財務諸表等	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
4. (参考) ハイライト情報	15
(1) 主要な経営指標の推移	15
(2) 当社グループの状況及び業績	16
(3) 四半期連結貸借対照表	18
(4) 四半期連結損益計算書	20
(5) 四半期連結株主等変動計算書	21
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	23
(7) 販売費及び一般管理費明細	25
(8) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損明細	25
(9) 支払利息明細	25
(10) 有価証券関係	26
(11) セグメント別売上高	27
(12) 四半期損益情報	28
(13) セグメント売上高及びセグメント利益	29
(14) 四半期個別貸借対照表	32
(15) 四半期個別損益計算書	34

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日～6月30日）は、政府から、景気は「着実に持ち直してきており」と判断されるなど一部に回復の動きが見られるものの、南欧諸国の財政危機が懸念されるなど世界経済の行く末はまだまだ不透明であり、生活者を取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは変化に対応すべく新たな3ヵ年中期目標を設定し、昨年度までにつくった「縮んでも利益を出せる体質」を維持しながら、成長に軸足を移しております。成長のための重点事業戦略は「国内既存事業での新たな需要創造」「新たなチャネル開発」「海外におけるマルチリージョナルな事業展開」であり、当第1四半期連結累計期間をそのスタートとして実行に移しております。その成果が大きく表れるのにはまだ時間が必要となりますが、野菜飲料を中心として積極的な広告投資を行ったことや、肉食回帰のトレンドにより調味料が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

利益面につきましては、継続的な原価低減活動の効果が表れたことなどにより、売上原価率は前年同期比1.6ポイント低下いたしました。一方、既存商品の活性化及び新商品のトライアル獲得のため、積極的な広告投資を行ったことで、広告宣伝費は7億19百万円増加(P.25)いたしました。またデフレ環境下におけるお客様の値ごろ感への対応のため、売上高に対する販売促進費の割合は前年同期比1.0ポイント上昇(P.25)いたしました。これらの影響により、営業利益は前年同期比1億20百万円減少(P.20)いたしました。費用の増加は期初における計画の範囲内であり、飲料の最需要期である第2四半期において売上の増加に繋げてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比2.4%増の462億76百万円、営業利益は前年同期比4.3%減の26億82百万円、経常利益は前年同期比9.9%減の28億20百万円、四半期純利益は前年同期比8.9%減の17億74百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

<国内コンシューマー事業>

国内コンシューマー事業の売上高は、前年同期比2.1%増の364億40百万円(P.27)となりました。各事業別の売上高の状況は、以下の通りです。

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリーにつきましては、ご支持いただいている既存商品ラインにおいて、平成22年春に新商品の投入を含めた大幅なリニューアルを行いました。「野菜生活100」は、シリーズ全体の健康価値を高めるとともに、お客様の多様なニーズに対応した「野菜生活100 Sweet Tomato」「野菜生活100 30品目の野菜と果実」「野菜生活100 Refresh! パインアップル&オレンジ」を新発売し、その拡販に努めました。6月には季節感のある期間限定商品「野菜生活100 沖縄シークワサーミックス」も追加発売しております。同時に野菜飲料の需要回復に向けて、“朝”の飲用オケージョン拡大を目指して、「野菜で朝活! キャンペーン」を、人気タレントの上地雄輔さんを起用して展開しております。「野菜一日これ一本」シリーズについては、男性のビジネスパーソンをメインターゲットとして、幅広い人気を得ている女性アイドルグループAKB48（エーケービー フォーティーエイト）を起用し、「ぎゅぎゅっと元気プレゼントキャンペーン」などを通じて、野菜摂取への共感とブランドロイヤリティの向上を図っております。5月には新商品「野菜一日これ一本 濃い緑黄色野菜」も追加発売しております。「やさしいぼり」につきましても「黄金比ブレンド」を中核として、「紫いもドルチェラテ」（販売地域限定商品）、「トマトと香味野菜スープ仕立て」を新発売し、野菜に対し嗜好性を持つ新たな顧客に対し、野菜飲料のおいしさ・楽しさを提供してまいりました。6月には季節感のある期間限定商品「トマトのレモネード」「トマトの蜜ジュレ」も追加発売しております。

乳酸菌カテゴリーにつきましては、「植物性乳酸菌ラブレ菌」の機能価値である便通の改善を広くお伝えする価値伝達活動を積極的に展開してまいりました。平成22年春には既存品のパッケージの刷新とフレーバーバリエーション「植物性乳酸菌ラブレ ピーチMIX」の追加発売を行いました。広告宣伝も人気お笑いコンビ南海キャンディーズの「しずちゃん」こと山崎静代さんを起用して、「夜飲んで、朝スッキリ!」をコンセプトにテレビコマーシャルなどを展開し、新規ユーザーの獲得を目指してまいりました。

その結果、飲料事業の売上高は、前年同期比0.1%増の229億36百万円(P.27)となりました。

② 食品事業

お客様の生活防衛意識の高まりによる内食回帰のトレンドは継続しており、「トマトケチャップ」などの基礎調味料が堅調に推移し、メニュー提案型のトマト調味料などが拡大いたしました。平成22年春に新発売したごはんに合うトマト味メニューの専用ソース「トマレピ！」シリーズについては、タレントのはるな愛さんを起用したテレビコマercialを行うなど、積極的な拡販に努めました。そのほか、同じく春の新商品である「サラダそうめん用 トマトつゆ」、パスタソースの「完熟トマトのポモドーロ」「アンナマンマ 冷製パスタソース」などを通じて、生活者に浸透しつつあるトマト味に新しさと驚きを提供し続けながら、その定着・拡大を図っております。既存商品においても、第1回目を開催した昨秋に続き、5月にトマトケチャップを使ったメニューレシピコンテスト「主婦-1グランプリ」を、料理研究家のコウケンテツさんを公式サポーターに迎えて開催するなど、需要喚起に努めました。

その結果、食品事業の売上高は、前年同期比5.7%増の74億47百万円(P.27)となりました。

③ ギフト事業

定番の「フルーツジュースギフト」「フルーツ+野菜飲料ギフト」「野菜生活ギフト」に加え、人気の「国産プレミアムジュースギフト」や「ゼリー&ジュースギフト」の拡販を図りました。また、インターネットや通販チャネルにおいても取扱いの拡大を図りました。しかし、景気後退による生活防衛意識の高まりが贈答市場に与えた影響は大きく、主要業態である百貨店の低迷も事業にとっては逆風となりました。

その結果、ギフト事業の売上高は、前年同期比1.3%減の21億90百万円(P.27)となりました。

④ 生鮮野菜事業

平成21年秋に「こくみトマト」シリーズのリニューアルを行ったのに続き、平成22年春にはその大容量ラインナップのリニューアルを行いました。これらを小売店の店頭において当社家庭用商品との連動展開を強化することなどにより、需要拡大を図ってまいりました。また栄養価の高い「高リコピントマト」においては、5～6月に期間限定でメニュー提案パッケージを採用し、取扱いの拡大を図りました。しかし不安定な市況などが影響し、販売は苦戦を強いられました。

その結果、生鮮野菜事業の売上高は、前年同期比3.7%増の23億65百万円(P.27)となりました。

⑤ メディア通販事業

平成21年7月に主力商品「毎日飲む野菜」「毎日飲む野菜と果実」のリニューアルを実施し、それにあわせて広告投資を拡大したことで、お客様を順調に増加させることができ、その後も多くのお客様に継続購入いただいております。また季節感のある数量限定商品「沖縄県産果実&野菜100%」を6月に発売し、好評を得ております。

その結果、メディア通販事業の売上高は、前年同期比20.3%増の15億円(P.27)となりました。

<国内業務用事業>

トマトを使用した和風メニューの提案として「炒めトマみそ」、野菜で彩りを加えるメニューの提案として「黄野菜ジュレ」、温野菜メニューの提案として「バーニャカウダソース」、ノンアルコールドリンクの提案として「シャルドネ」など平成22年春に発売した16アイテムの新商品につき、その市場定着に向けたメニュー提案活動を強化いたしました。あわせて主力商品であるトマトケチャップなどの需要活性化に注力するとともに、大手顧客に対する開発営業活動の強化にも取り組みました。

その結果、業務用事業の売上高は、前年同期比1.7%増の58億38百万円(P.27)となりました。

<国内その他事業>

運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、原材料販売などをあわせた国内におけるその他事業の売上高は、前年同期比0.9%増の33億21百万円(P.27)となりました。

<海外事業>

海外事業の売上高は、前年同期比1.8%減の35億47百万円(P.27)となりました。各地域別の売上高の状況は、以下の通りです。

① 米国

米国子会社であるKAGOME INC.は、一部顧客への出荷量減により売上高は減少いたしました。物流費率の低減などのコスト削減により増益となりました。

その結果、米国における売上高は、前年同期比8.9%減の26億61百万円(P.27)となりました。

② 欧州

イタリア子会社であるVegitalia S.p.A.は、欧州における経済環境悪化の中、2009年度クロープ品の出荷が堅調に推移しておりますが、中期事業計画の遂行は遅れており利益面での改善は途上にあります。

その結果、欧州における売上高は、前年同期比24.4%増の3億42百万円(P.27)となりました。

③ アジア

平成22年4月に新組織「アジア事業カンパニー」を設立し、現地市場に根差したアジア内需への事業展開を推進するため、中国・台湾・その他アジア地域における事業可能性の検討に着手しております。

台湾子会社である台湾可果美股份有限公司は、昨年度実施したケチャップの値上げに伴い苦戦しておりましたが、その後の市場シェア回復により復調してまいりました。

中国子会社である可果美(杭州)食品有限公司は、現地開発型商品が寄与し売上を伸ばすことができました。

その結果、アジアにおける売上高は、前年同期比31.5%増の5億43百万円(P. 27)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末は、主に資金調達手段の確保と資金調達枠の増額により総資産が前期末に比べ250億37百万円増加いたしました。

主な資産の変動は、「現金及び預金」が74億20百万円、「受取手形及び売掛金」が45億89百万円、「有価証券」が125億84百万円それぞれ増加したことによります。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が38億99百万円、「短期社債」が200億円、「未払金」が17億42百万円、流動負債「その他」が19億3百万円それぞれ増加した一方、未払法人税等が12億94百万円減少したことによります。

主な純資産の変動は、剰余金の配当14億92百万円と、四半期純利益17億74百万円により「利益剰余金」が2億82百万円増加したこと、「その他有価証券評価差額金」が3億78百万円減少、「繰延ヘッジ損益」が10億24百万円減少したことによります。

この結果、自己資本比率は54.7%、1株当たり純資産は874円50銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、166億88百万円となり、前期末比で44億17百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、30億5百万円の純収入となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が32億66百万円となったこと、減価償却費が14億28百万円となったこと、仕入債務が47億17百万円増加したこと(キャッシュの純収入)、売上債権が44億71百万円増加したこと(キャッシュの純支出)、法人税等の支払により26億58百万円を支出したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、165億4百万円の純支出となりました。この主要因は、定期預金の預入により50億円を支出したこと、有価証券の取得により116億28百万円を支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、179億5百万円の純収入となりました。この主要因は、短期社債の発行により200億円の収入となったこと、配当金の支払により14億17百万円を支出したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は増収減益となりましたが、ほぼ想定どおりの推移であり、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして修正は行いません。第2四半期以降は、引き続き「縮んでも利益を出せる体質」を維持しながら、成長へのシフトを確かなものとするべく、野菜飲料を中心として一層の販売促進強化を図ってまいります。

<国内コンシューマー事業>

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリにつきましては、当社の売上回復を確かなものとするとともに、トップブランドとして野菜飲料市場を再成長させることが当社の責務と考え、需要創造に取り組んでまいります。体に良い飲料としての野菜飲料の認知をより拡大させるとともに、カテゴリ・ブランドの新しさを打ち出す商品の上市などにより、更なる新規ユーザーの獲得を目指してまいります。

新商品については、気温の上昇に合わせて、「野菜ジュースなのにゴクゴク飲める」がコンセプトの「野菜生活100 Refresh!」シリーズに「沖縄シークワサー&レモン」と「カシス&オレンジ」の2フレーバーを追加投入いたします。また拡大傾向にあるトマトジュースにおいては、はちみつ・レモンを加えて甘酸っぱくすっきり飲みやすくした「フルーティトマト」を投入し、トマトジュースを敬遠されている方に新しい味わいを提案いたします。「やさしいぼり」シリーズにつきましても、「かぼちゃプリン」の発売により、野菜に対し嗜好性を持つお客様に対する野菜飲料のおいしさ・楽しさを提供してまいります。プロモーションについては、「野菜生活100 Refresh!」を中心としたテレビコマーシャルのほか、店頭において恒例となっております8月の「新物トマトジュース一斉出荷」、「野菜の日」企画をはじめとして、新たな切り口でのプロモーションを実施することで需要喚起を図ってまいります。

乳酸菌カテゴリにつきましては、引き続き植物性乳酸菌「ラブレ菌」の機能価値（便通改善・免疫力の向上）を、広くお伝えする価値伝達活動を積極的に展開するとともに、「乳酸菌の日」や「敬老の日」といった記念日にあわせたプロモーションを実施することで、新規ユーザーの獲得を目指してまいります。

② 食品事業

内食需要の拡大トレンドを引き続き好機ととらえ、より一層の拡販を図ってまいります。基礎調味料での提案はもちろんのこと、昨シーズンヒット商品となりました「甘熟トマト鍋 鍋用スープ」について、パッケージデザインのリニューアルを行い、鍋メニューとしての定番化を目指してまいります。また「トマトすき焼き鍋」も新発売し、トマト味の鍋を食卓シーンに更に拡げてまいります。ごはんに合うトマト味メニューの専用ソース「トマレピ！」シリーズからは、「鶏肉ときのこのこのデミトマ炒め」など新メニュー6品を追加発売し育成してまいります。パスタソースの「アンナマンマ」シリーズや、レンジ用セット米飯「押し麦ごはん」シリーズ、またハンバーグソースなどにおいても新商品を投入し、需要の拡大を狙ってまいります。

③ ギフト事業

飲料ギフト市場そのものの縮小という厳しい環境下にあります。健康・こだわり・本物・上質を追求したギフト、環境にやさしい紙容器ギフト、デザートギフトなどの拡大によって、贈答需要の創造形成を目指してまいります。販売面においても、中元・歳暮市場がダウントレンドの中、記念日や手土産・返礼といった新たな贈答機会を獲得し、またインターネット通販やカタログ通販など拡大する販売チャネルへの対応力を強化することで、通年でのギフト事業の持続的成長を目指してまいります。

⑤ 生鮮野菜事業

「こくみトマト」シリーズの「ラウンド」「プラム」「ミディ」の更なる市場定着・拡大を図るとともに、育成商品である「高リコピントマト」「キッズチェリー」「スナックトマト」の企画提案を強化し、売上拡大を目指してまいります。また、昨年度に成果のあった事業損益の改善に引き続き取り組んでまいります。

⑥ メディア通販事業

平成21年夏のリニューアル実施以降好調の「毎日飲む野菜」、「毎日飲む野菜と果実」を中心として、広告投資により新規のお客様を獲得し、更なる売上拡大を図ってまいります。またシーズンや産地を訴求した飲料など、野菜と果実の魅力を追求し、健康価値にとどまらない多面的な価値を持つ商品を開発・発売してまいります。サプリメント分野につきましても、飲料に続く柱とすべく引き続き取り組んでまいります。

<国内業務用事業>

トマトケチャップの需要活性化に向けたオムライス・ナポリタンなどのメニュー情報発信を継続するとともに、トマトの「和」メニューや高齢者施設・病院給食向けメニューなどの開発・提案を引き続き強化してまいります。またメニュー起点で開発した今春の新商品の定着を図るとともに、メニュー提案力や商品開発力を強化していくことで、お客様のニーズに機動的に対応できるよう努めてまいります。

<国内その他事業>

引き続き、運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、原材料販売などを行ってまいります。

<海外事業>

当社グループでは課題の1つとして「関係会社の収益改善」を掲げております。海外で事業展開しておりますグループ会社につきましても、勝てるビジネスモデルへの転換を実現できるよう推進してまいります。また、平成22年4月に新設した組織「アジア事業カンパニー」において、現地市場に根差したアジア内需への事業展開を推進してまいります。事業譲り受けに関する契約を締結したオーストラリアのトマト加工会社・農業会社については、当社の主事業の一つである農業生産を基盤とした原料加工事業をオセアニア地区で展開し、海外での成長を目指すとともに、南半球での安定的な原料調達拠点とすべく経営を進めていく予定です。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,158	7,738
受取手形及び売掛金	28,892	24,302
有価証券	22,145	9,561
商品及び製品	9,044	7,607
仕掛品	23	30
原材料及び貯蔵品	14,962	17,284
その他	7,295	6,634
貸倒引当金	△98	△120
流動資産合計	97,423	73,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,126	13,264
機械装置及び運搬具（純額）	12,309	11,943
工具、器具及び備品（純額）	676	715
土地	11,867	11,808
リース資産（純額）	2,433	2,537
建設仮勘定	483	280
有形固定資産合計	41,896	40,549
無形固定資産		
のれん	130	—
ソフトウェア	1,608	1,710
その他	542	367
無形固定資産合計	2,280	2,078
投資その他の資産		
投資有価証券	13,697	13,933
その他	3,881	4,551
貸倒引当金	△138	△147
投資その他の資産合計	17,441	18,338
固定資産合計	61,618	60,965
資産合計	159,042	134,005

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,513	10,614
短期社債	20,000	—
短期借入金	3,054	3,526
1年内返済予定の長期借入金	3,093	2,941
未払金	9,530	7,787
未払法人税等	1,342	2,636
賞与引当金	1,033	1,851
役員賞与引当金	—	45
その他	4,633	2,730
流動負債合計	57,202	32,134
固定負債		
長期借入金	5,986	5,179
退職給付引当金	2,431	2,356
その他	4,866	4,915
固定負債合計	13,284	12,452
負債合計	70,487	44,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	23,733	23,733
利益剰余金	46,268	45,986
自己株式	△206	△205
株主資本合計	89,780	89,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134	512
繰延ヘッジ損益	△1,525	△501
為替換算調整勘定	△1,404	△1,465
評価・換算差額等合計	△2,795	△1,453
少数株主持分	1,569	1,372
純資産合計	88,555	89,418
負債純資産合計	159,042	134,005

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	45,197	46,276
売上原価	23,875	23,687
売上総利益	21,321	22,589
販売費及び一般管理費	18,519	19,907
営業利益	2,802	2,682
営業外収益		
受取利息	41	50
受取配当金	116	126
持分法による投資利益	122	32
その他	187	102
営業外収益合計	467	311
営業外費用		
支払利息	97	65
為替差損	—	81
その他	42	25
営業外費用合計	140	172
経常利益	3,129	2,820
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	13
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	449
特別利益合計	0	463
特別損失		
固定資産処分損	7	17
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	12	17
税金等調整前四半期純利益	3,117	3,266
法人税、住民税及び事業税	1,161	1,492
法人税等調整額	3	△0
法人税等合計	1,165	1,491
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,774
少数株主利益	3	0
四半期純利益	1,948	1,774

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,117	3,266
減価償却費	1,507	1,428
受取利息及び受取配当金	△158	△176
支払利息	97	65
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△130	△871
その他の引当金の増減額 (△は減少)	79	48
持分法による投資損益 (△は益)	△122	△32
有価証券売却損益 (△は益)	—	△449
固定資産処分損	7	17
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,706	△4,471
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△363	922
未収入金の増減額 (△は増加)	149	△168
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,768	4,717
未払金の増減額 (△は減少)	1,463	1,556
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△393	△464
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	152	194
その他の増加額	18	10
その他の減少額	△72	△25
小計	3,415	5,567
利息及び配当金の受取額	186	132
利息の支払額	△66	△36
法人税等の支払額	△141	△2,658
法人税等の還付額	—	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,393	3,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,000
有価証券の取得による支出	△3	△11,628
有価証券の売却による収入	—	1,093
固定資産の取得による支出	△1,136	△610
固定資産の除却による支出	△0	△2
固定資産の売却による収入	22	6
貸付けによる支出	△110	—
貸付金の回収による収入	236	—
事業譲受による支出	—	△358
その他の増加額	47	44
その他の減少額	△18	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△963	△16,504

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期社債の発行による収入	10,000	—
短期社債の償還による支出	△8,000	—
借入れによる収入	5,364	—
借入金の返済による支出	△582	—
短期社債の純増減額 (△は減少)	—	20,000
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△450
長期借入金の返済による支出	—	△136
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△301	△118
少数株主からの払込みによる収入	—	73
配当金の支払額	△1,400	△1,417
少数株主への配当金の支払額	△50	△44
自己株式の取得による支出	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,027	17,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,500	4,400
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	16
現金及び現金同等物の期首残高	16,013	12,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,513	16,688

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内外で食品の生産、製造、仕入及び販売をしております。

国内については主に製品を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「メディア通販」、「業務用事業」、「その他」の7つを報告セグメントとしております。

海外においては、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「米国」、「欧州」、「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

国内事業においては、大きく「コンシューマー事業」と「業務用事業」に区分してしております。「コンシューマー事業」は、一般の消費者を対象とした事業であり、更に以下の5つに区分してしております。

「飲料」は、野菜飲料、フルーツ飲料、お茶飲料、乳酸菌などが対象となります。

「食品」は、調味料、調理食品が対象となります。

「ギフト」は、主として飲料のギフトが対象となります。

「生鮮野菜」は、各菜園での生鮮トマトの生産とその販売を行っております。

「メディア通販」は、自社通販及びネットスーパーやネット通販など他社通販チャンネルにおける飲料やサプリメント、冷凍食品などが対象となります。

「業務用事業」は、主として外食産業や食品メーカーにおける調味料、素材、飲料などが対象となります。

「その他」は、不動産事業、物流事業、原材料売却事業等が対象となります。

海外事業においては、現地法人及び社内カンパニーがそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「米国」においてはKAGOME INC. が主に外食向け調味料の製造、販売を行っております。

「欧州」においてはVegitalia S.p.A. が冷凍野菜の製造、販売を行っております。

「アジア」においては主として台湾可果美股份有限公司が台湾における調味料及び飲料の製造、販売を、可果美（杭州）食品有限公司が中国における飲料の製造、販売を行っており、それらをアジア事業カンパニーが統括しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	国内事業								
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メディア 通販	計			
売上高									
外部顧客に対する 売上高	22,936	7,447	2,190	2,365	1,500	36,440	5,838	541	42,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	2,779	2,779
計	22,936	7,447	2,190	2,365	1,500	36,440	5,838	3,321	45,601
セグメント利益 又は損失（△）	647	508	606	296	96	2,156	418	148	2,722

（単位：百万円）

	海外事業				調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	米国	欧州	アジア	計		
売上高						
外部顧客に対する 売上高	2,640	280	534	3,455	—	46,276
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	62	8	91	△2,871	—
計	2,661	342	543	3,547	△2,871	46,276
セグメント利益 又は損失（△）	191	△193	△39	△40	—	2,682

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(減損損失)
該当事項はありません。

(のれん)
のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業								
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メディア 通販	計			
当期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業				調整額	連結 財務諸表 計上額
	米国	欧州	アジア (注)	計		
当期償却額	—	—	—	—	—	—
当期末残高	—	—	130	130	—	130

(注) 可果美(杭州)食品有限公司の増資に伴い発生したものであります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. (参考) ハイライト情報

(1) 主要な経営指標の推移

【連結経営指標等】

決算年月	平成21年6月	平成22年6月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月 予想
会計期間	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 6月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 6月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日	自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日
売上高 (百万円)	45,197	46,276	175,134	171,937	177,000
売上高伸び率 (%)	△7.0	2.4	△12.6	△1.8	2.9
営業利益 (百万円)	2,802	2,682	4,447	6,397	6,900
売上高営業利益率 (%)	6.2	5.8	2.5	3.7	3.9
経常利益 (百万円)	3,129	2,820	4,249	7,304	7,300
売上高経常利益率 (%)	6.9	6.1	2.4	4.2	4.1
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (百万円)	3,117	3,266	2,262	5,948	7,400
売上高税金等調整前四半期 (当期) 純利益率 (%)	6.9	7.1	1.3	3.5	4.2
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	1,948	1,774	2,000	2,981	4,000
売上高四半期 (当期) 純利益率 (%)	4.3	3.8	1.1	1.7	2.3
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	19.59	17.84	20.09	29.97	40.21
自己資本四半期 (当期) 純利益率 (%)	2.3	2.0	2.3	3.4	—
総資産経常利益率 (%)	2.1	1.9	3.0	5.3	—
総資産 (百万円)	153,904	159,042	140,938	134,005	—
純資産 (百万円)	88,518	88,555	87,707	89,418	—
自己資本比率 (%)	56.5	54.7	61.1	65.7	—
1株当たり純資産 (円)	874.64	874.50	866.10	885.16	—
四半期 (期末) 株価 (円)	1,596	1,612	1,426	1,596	—
株価収益率 (倍)	81.5	90.4	71.0	53.3	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	3,393	3,005	4,137	15,230	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△963	△16,504	△5,431	△6,458	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	5,027	17,905	4,433	△12,544	—
現金及び現金同等物の四半期 (期末) 残高 (百万円)	23,513	16,688	16,013	12,270	—
従業員数 (名)	2,107	2,081	2,038	2,031	2,010
〔外、平均臨時雇用者数〕	[1,299]	[1,417]	[1,249]	[1,250]	—
固定投資額 (百万円)	559	563	3,794	2,604	3,000
〔うち有形固定資産〕	[441]	[507]	[3,139]	[2,038]	[2,700]
減価償却費 (百万円)	1,507	1,428	7,079	6,142	5,400
〔うち有形固定資産〕	[1,349]	[1,251]	[6,527]	[5,450]	[4,900]
研究開発費 (百万円)	570	601	2,541	2,577	2,700
広告宣伝費 (百万円)	1,757	2,476	6,784	5,326	6,800
期中米ドル決済レート (注2) (円)	96.1	95.6	102.6	96.4	—

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 当社の決済レートを記載しております。

(2) 当社グループの状況及び業績

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権 の 所有割合		前第1四半期 累計期間 (百万円)	当第1四半期 累計期間 (百万円)	増減率
----------	------------------	------------------	--	-------------------------	-------------------------	-----

当社

カゴメ㈱ 食品製造販売業	19,985百万円 3月	—	売上高	41,509	42,037	+1.3%
			営業利益	2,680	2,383	△11.1%
			四半期純利益	1,939	1,694	△12.6%
			総資産	141,608	145,601	+2.8%
			純資産	87,846	85,344	△2.8%

連結子会社

カゴメ不動産㈱ 不動産業	98百万円 2月	100%	売上高	216	219	+1.3%
			営業利益	61	74	+21.1%
			四半期純利益	41	48	+19.3%
			総資産	3,099	3,136	+1.2%
			純資産	2,265	2,384	+5.3%
カゴメ物流サービス㈱ 物流業・倉庫業・ 指定自動車整備業	80百万円 2月	100%	売上高	3,037	3,030	△0.2%
			営業利益	68	40	△40.7%
			四半期純利益	39	23	△40.4%
			総資産	3,674	3,751	+2.1%
			純資産	2,185	2,204	+0.9%
KAGOME INC. 食品製造販売業 (注1)	33百万 米ドル 12月	100%	売上高	[31,223千米ドル]	[29,347千米ドル]	[△6.0%]
			営業利益	117 [1,257千米ドル]	148 [1,640千米ドル]	+26.4% [+30.5%]
			四半期純利益	74 [791千米ドル]	92 [1,024千米ドル]	+25.3% [+29.4%]
			総資産	7,010 [71,363千米ドル]	6,760 [72,660千米ドル]	△3.6% [+1.8%]
			純資産	3,567 [36,321千米ドル]	3,656 [39,295千米ドル]	+2.5% [+8.2%]
台湾可果美股份有限公司 食品製造販売業	316百万 台湾ドル 12月	50.40%	売上高	343 [124百万台湾ドル]	438 [154百万台湾ドル]	+27.5% [+23.8%]
			営業利益	19 [7百万台湾ドル]	39 [13百万台湾ドル]	+103.7% [+97.9%]
			四半期純利益	16 [5百万台湾ドル]	32 [11百万台湾ドル]	+100.5% [+94.7%]
			総資産	2,330 [808百万台湾ドル]	2,371 [807百万台湾ドル]	+1.8% [△0.2%]
			純資産	1,992 [691百万台湾ドル]	2,001 [681百万台湾ドル]	+0.4% [△1.5%]
加太菜園㈱ 農産物の生産・販売	90百万円 2月	70.00%	売上高	283	262	△7.1%
			営業利益	90	80	△10.9%
			四半期純利益	84	75	△11.2%
			総資産	1,906	1,747	△8.4%
			純資産	△452	△474	—
可果美(杭州)食品 有限公司 食品製造販売業 (注2、3)	25.1百万 米ドル 12月	70.24%	売上高	69 [5百万円]	105 [7百万円]	+51.4% [+55.9%]
			営業利益	△74 [△5百万円]	△78 [△5百万円]	— [—]
			四半期純利益	△69 [△5百万円]	△76 [△5百万円]	— [—]
			総資産	674 [46百万円]	633 [46百万円]	△6.1% [△1.0%]
			純資産	542 [37百万円]	158 [11百万円]	△70.7% [△69.2%]

名称及び事業内容	資本金及び決算期	議決権の所有割合		前第1四半期累計期間 (百万円)	当第1四半期累計期間 (百万円)	増減率
響灘菜園(株) 農産物の生産・販売	50百万円 2月	66.00%	売上高	239	354	+47.9%
			営業利益	11	84	+622.1%
			四半期純利益	△9	74	—
			総資産	2,133	2,407	+12.8%
			純資産	△719	△769	—
ケイ・エイチ デリカ(株) 惣菜店の経営	50百万円 2月	60.00%	売上高	18	22	+20.7%
			営業利益	△4	△5	—
			四半期純利益	△4	△5	—
			総資産	39	44	+12.4%
			純資産	33	18	△43.5%
Vegitalia S.p.A. 食品製造販売業	13百万ユーロ 12月	100%	売上高	275 [2,260千ユーロ]	342 [2,725千ユーロ]	+24.4% [+20.6%]
			営業利益	△188 [△1,543千ユーロ]	△193 [△1,537千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	△190 [△1,564千ユーロ]	△194 [△1,547千ユーロ]	— [—]
			総資産	5,464 [42,085千ユーロ]	2,744 [21,973千ユーロ]	△49.8% [△47.8%]
			純資産	1,270 [9,786千ユーロ]	△661 [△5,294千ユーロ]	— [—]
いわき小名浜菜園(株) 農産物の生産・販売 (注4)	10百万円 2月	49.00%	売上高	433	434	+0.3%
			営業利益	103	60	△41.9%
			四半期純利益	89	49	△44.9%
			総資産	2,707	2,440	△9.8%
			純資産	△1,491	△1,530	—

持分法適用会社（関連会社）

世羅菜園(株) 農産物の生産・販売	85百万円 2月	47.06%	売上高	266	281	+5.9%
			営業利益	53	55	+4.9%
			四半期純利益	50	31	△38.1%
			総資産	1,621	1,402	△13.5%
			純資産	98	50	△48.4%
Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. 食品製造販売業	550千ユーロ 12月	43.00%	売上高	1,558 [12,798千ユーロ]	1,444 [11,500千ユーロ]	△7.3% [△10.1%]
			営業利益	△7 [△65千ユーロ]	18 [150千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	33 [273千ユーロ]	30 [238千ユーロ]	△9.9% [△12.6%]
			総資産	7,139 [54,986千ユーロ]	7,900 [63,247千ユーロ]	+10.7% [+15.0%]
			純資産	1,125 [8,667千ユーロ]	1,562 [12,504千ユーロ]	+38.8% [+44.3%]

- (注) 1. KAGOME INC. の業績は、同子会社の内蒙古可果美食品有限公司及びKAGOME CREATIVE FOODS INC. を連結しております。
2. 当社は、平成22年6月に可果美（杭州）食品有限公司へ7.2百万米ドルの増資をしております。
3. 資本金及び議決権の所有割合については、平成22年6月末時点の表示としております。
4. いわき小名浜菜園(株)は、平成22年3月に、従来の普通株式10百万円から普通株式1百万円、優先株式9百万円に資本構成を変更いたしました。普通株式の議決権の所有割合は従来と変わりませんが、優先株式を当社が全て引き受けたため、当連結会計年度より連結子会社としております。

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)								
I 流 動 資 産								
現金及び預金		9,516		15,158		5,642	7,738	
受取手形及び売掛金		28,756		28,892		135	24,302	
有価証券		14,023		22,145		8,121	9,561	
商品及び製品		8,829		9,044		214	7,607	
仕掛品		30		23		△ 6	30	
原材料及び貯蔵品		16,328		14,962		△ 1,365	17,284	
その他		10,876		7,295		△ 3,581	6,634	
貸倒引当金		△ 119		△ 98		21	△ 120	
流動資産合計		88,243	57.3	97,423	61.3	9,180	73,039	54.5
II 固 定 資 産								
有形固定資産								
建物及び構築物(純額)		14,533		14,126		△ 406	13,264	
機械装置及び運搬具(純額)		14,181		12,309		△ 1,872	11,943	
工具、器具及び備品(純額)		754		676		△ 77	715	
土地		11,839		11,867		27	11,808	
リース資産(純額)		2,872		2,433		△ 439	2,537	
建設仮勘定		349		483		133	280	
有形固定資産合計		44,531	28.9	41,896	26.3	△ 2,634	40,549	30.3
無形固定資産								
のれん		200		130		△ 69	—	
ソフトウェア		1,752		1,608		△ 144	1,710	
その他		415		542		126	367	
無形固定資産合計		2,368	1.6	2,280	1.4	△ 87	2,078	1.5
投資その他の資産								
投資有価証券		13,138		13,697		559	13,933	
その他		5,761		3,881		△ 1,879	4,551	
貸倒引当金		△ 138		△ 138		△ 0	△ 147	
投資その他の資産合計		18,761	12.2	17,441	11.0	△ 1,320	18,338	13.7
固定資産合計		65,661	42.7	61,618	38.7	△ 4,042	60,965	45.5
資産合計		153,904	100.0	159,042	100.0	5,137	134,005	100.0

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	金 額
(負債の部)								
I 流 動 負 債								
支払手形及び買掛金		15,414		14,513		△ 901	10,614	
短期社債		10,000		20,000		10,000	—	
短期借入金		8,222		3,054		△ 5,167	3,526	
一年内返済予定の長期借入金		2,400		3,093		693	2,941	
未払金		8,875		9,530		655	7,787	
未払法人税等		1,194		1,342		147	2,636	
賞与引当金		943		1,033		90	1,851	
役員賞与引当金		—		—		—	45	
その他		2,895		4,633		1,738	2,730	
流動負債合計		49,945	32.5	57,202	36.0	7,257	32,134	24.0
II 固 定 負 債								
長期借入金		6,546		5,986		△ 560	5,179	
退職給付引当金		2,448		2,431		△ 16	2,356	
その他		6,445		4,866		△ 1,578	4,915	
固定負債合計		15,440	10.0	13,284	8.3	△ 2,155	12,452	9.3
負債合計		65,385	42.5	70,487	44.3	5,101	44,586	33.3
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資本金		19,985	13.0	19,985	12.6	—	19,985	14.9
資本剰余金		23,733	15.4	23,733	14.9	—	23,733	17.7
利益剰余金		44,953	29.2	46,268	29.1	1,314	45,986	34.3
自己株式		△ 202	△ 0.1	△ 206	△ 0.1	△ 3	△ 205	△ 0.1
株主資本合計		88,469	57.5	89,780	56.5	1,311	89,499	66.8
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金		274	0.2	134	0.1	△ 140	512	0.4
繰延ヘッジ損益		△ 501	△ 0.4	△ 1,525	△ 1.0	△ 1,023	△ 501	△ 0.4
為替換算調整勘定		△ 1,241	△ 0.8	△ 1,404	△ 0.9	△ 163	△ 1,465	△ 1.1
評価・換算差額等合計		△ 1,469	△ 1.0	△ 2,795	△ 1.8	△ 1,326	△ 1,453	△ 1.1
III 少 数 株 主 持 分		1,518	1.0	1,569	1.0	51	1,372	1.0
純 資 産 合 計		88,518	57.5	88,555	55.7	36	89,418	66.7
負債純資産合計		153,904	100.0	159,042	100.0	5,137	134,005	100.0

(4) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		増 減		前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	I 売 上 高	45,197	100.0	46,276	100.0	1,079	2.4	171,937
II 売 上 原 価	23,875	52.8	23,687	51.2	△ 187		90,932	52.9
売 上 総 利 益	21,321	47.2	22,589	48.8	1,267	5.9	81,005	47.1
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	18,519	41.0	19,907	43.0	1,387		74,608	43.4
営 業 利 益	2,802	6.2	2,682	5.8	△ 120	△ 4.3	6,397	3.7
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息	41		50		8		235	
受 取 配 当 金	116		126		9		277	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	122		32		△ 90		245	
そ の 他	187		102		△ 85		719	
営 業 外 収 益 合 計	467	1.0	311	0.7	△ 156		1,478	0.8
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息	97		65		△ 31		359	
為 替 差 損	—		81		81		43	
そ の 他	42		25		△ 17		168	
営 業 外 費 用 合 計	140	0.3	172	0.4	32		571	0.3
経 常 利 益	3,129	6.9	2,820	6.1	△ 309	△ 9.9	7,304	4.2
VI 特 別 利 益								
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	—		13		13		1	
固 定 資 産 売 却 益	0		0		0		135	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—		449		449		—	
特 別 利 益 合 計	0	0.0	463	1.0	463		136	0.1
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	7		17		9		146	
減 損 損 失	—		—		—		1,324	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	4		—		△ 4		7	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	—		—		—		14	
特 別 損 失 合 計	12	0.0	17	0.0	4		1,491	0.8
税金等調整前 四半期(当期)純利益	3,117	6.9	3,266	7.1	149	4.8	5,948	3.5
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,161		1,492		330		2,927	
法 人 税 等 調 整 額	3		△ 0		△ 3		167	
法 人 税 等 合 計	1,165	2.6	1,491	3.3	326		3,094	1.9
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	1,951	4.3	1,774	3.8	△ 177	△ 9.1	2,854	1.6
少 数 株 主 利 益 又 は 少 数 株 主 損 失 (△)	3	0.0	0	0.0	△ 2		△ 126	△ 0.1
四半期(当期)純利益	1,948	4.3	1,774	3.8	△ 174	△ 8.9	2,981	1.7

(5) 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
株 主 資 本				
資 本 金				
前 期 末 残 高		19,985	19,985	19,985
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		—	—	—
四 半 期 (当 期) 末 残 高		19,985	19,985	19,985
資 本 剰 余 金				
前 期 末 残 高		23,733	23,733	23,733
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		—	—	—
四 半 期 (当 期) 末 残 高		23,733	23,733	23,733
利 益 剰 余 金				
前 期 末 残 高		44,496	45,986	44,496
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
剰 余 金 の 配 当		△ 1,492	△ 1,492	△ 1,492
四 半 期 (当 期) 純 利 益		1,948	1,774	2,981
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		456	282	1,489
四 半 期 (当 期) 末 残 高		44,953	46,268	45,986
自 己 株 式				
前 期 末 残 高		△ 200	△ 205	△ 200
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
自 己 株 式 の 取 得		△ 2	△ 0	△ 4
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		△ 2	△ 0	△ 4
四 半 期 (当 期) 末 残 高		△ 202	△ 206	△ 205
株 主 資 本 合 計				
前 期 末 残 高		88,014	89,499	88,014
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
剰 余 金 の 配 当		△ 1,492	△ 1,492	△ 1,492
四 半 期 (当 期) 純 利 益		1,948	1,774	2,981
自 己 株 式 の 取 得		△ 2	△ 0	△ 4
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		454	281	1,484
四 半 期 (当 期) 末 残 高		88,469	89,780	89,499
評 価 ・ 換 算 差 額 等				
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金				
前 期 末 残 高		△ 225	512	△ 225
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (当 期) 中 の 変 動 額 (純 額)		499	△ 378	738
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		499	△ 378	738
四 半 期 (当 期) 末 残 高		274	134	512

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
繰 延 へ ッ ジ 損 益				
前 期 末 残 高		89	△ 501	89
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)	△	591	△ 1,024	△ 590
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計	△	591	△ 1,024	△ 590
四 半 期 (当 期) 末 残 高	△	501	△ 1,525	△ 501
為 替 換 算 調 整 勘 定				
前 期 末 残 高	△	1,727	△ 1,465	△ 1,727
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		485	60	261
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		485	60	261
四 半 期 (当 期) 末 残 高	△	1,241	△ 1,404	△ 1,465
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計				
前 期 末 残 高	△	1,862	△ 1,453	△ 1,862
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		393	△ 1,341	409
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		393	△ 1,341	409
四 半 期 (当 期) 末 残 高	△	1,469	△ 2,795	△ 1,453
少 数 株 主 持 分				
前 期 末 残 高		1,555	1,372	1,555
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)	△	37	196	△ 182
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計	△	37	196	△ 182
四 半 期 (当 期) 末 残 高		1,518	1,569	1,372
純 資 産 合 計				
前 期 末 残 高		87,707	89,418	87,707
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
剰 余 金 の 配 当	△	1,492	△ 1,492	△ 1,492
四 半 期 (当 期) 純 利 益		1,948	1,774	2,981
自 己 株 式 の 取 得	△	2	△ 0	△ 4
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		356	△ 1,145	226
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		811	△ 863	1,710
四 半 期 (当 期) 末 残 高		88,518	88,555	89,418

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別		増減	前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	3,117	3,266	149	5,948
2 減価償却費	1,507	1,428	△ 79	6,142
3 減損損失	—	—	—	1,324
4 受取利息及び受取配当金	△ 158	△ 176	△ 18	△ 512
5 支払利息	97	65	△ 31	359
6 賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 130	△ 871	△ 740	821
7 その他の引当金の増減額(△は減少)	79	48	△ 31	△ 7
8 持分法による投資損益(△は益)	△ 122	△ 32	90	△ 245
9 有価証券売却損益(△は益)	—	△ 449	△ 449	—
10 固定資産処分損	7	17	9	146
11 売上債権の増減額(△は増加)	△ 4,706	△ 4,471	234	△ 266
12 たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 363	922	1,286	△ 279
13 未収入金の増減額(△は増加)	149	△ 168	△ 317	975
14 仕入債務の増減額(△は減少)	2,768	4,717	1,949	△ 550
15 未払金の増減額(△は減少)	1,463	1,556	93	502
16 その他の流動資産の増減額(△は増加)	△ 393	△ 464	△ 70	△ 33
17 その他の流動負債の増減額(△は減少)	152	194	42	349
18 その他の増加額	18	10	△ 8	347
19 その他の減少額	△ 72	△ 25	46	△ 135
小 計	3,415	5,567	2,152	14,886
20 利息及び配当金の受取額	186	132	△ 54	481
21 利息の支払額	△ 66	△ 36	30	△ 364
22 法人税等の支払額	△ 141	△ 2,658	△ 2,517	△ 450
23 法人税等の還付額	—	0	0	677
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,393	3,005	△ 388	15,230
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 定期預金の預入による支出	—	△ 5,000	△ 5,000	△ 12,000
2 定期預金の払戻による収入	—	—	—	7,000
3 有価証券の取得による支出	△ 3	△ 11,628	△ 11,624	△ 31,630
4 有価証券の売却による収入	—	1,093	1,093	31,500
5 固定資産の取得による支出	△ 1,136	△ 610	526	△ 3,096
6 固定資産の除却による支出	△ 0	△ 2	△ 1	△ 1
7 固定資産の売却による収入	22	6	△ 15	198
8 貸付けによる支出	△ 110	—	110	△ 255
9 貸付金の回収による収入	236	—	△ 236	2,171
10 事業譲受による支出	—	△ 358	△ 358	—
11 その他の増加額	47	44	△ 2	187
12 その他の減少額	△ 18	△ 48	△ 29	△ 531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 963	△ 16,504	△ 15,541	△ 6,458

(単位：百万円)

項 目	期 別	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	増減	前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
		金 額	金 額	金 額	金 額
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
1 短期社債の純増減額(△は減少)		2,000	20,000	18,000	△ 8,000
2 短期借入金の純増減額(△は減少)		4,915	△ 450	△ 5,365	273
3 長期借入による収入		—	—	—	1,730
4 長期借入金の返済による支出	△	133	△ 136	△ 3	△ 2,722
5 ファイナンス・リース債務の返済による支出	△	301	△ 118	183	△ 2,283
6 少数株主からの払込みによる収入		—	73	73	—
7 配当金の支払額	△	1,400	△ 1,417	△ 17	△ 1,485
8 少数株主への配当金の支払額	△	50	△ 44	6	△ 50
9 自己株式の取得による支出	△	2	△ 0	1	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,027	17,905	12,877	△ 12,544
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		42	△ 4	△ 47	29
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		7,500	4,400	△ 3,099	△ 3,742
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	16	16	—
VII 現金及び現金同等物の期首残高		16,013	12,270	△ 3,742	16,013
VIII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		23,513	16,688	△ 6,825	12,270

(注)前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、当第1四半期連結累計期間の表示に組替えております。

(7) 販売費及び一般管理費明細

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
販 売 手 数 料	915	2.0	1,092	2.4	177	19.4	3,957	2.3
販 売 促 進 費	7,475	16.5	8,079	17.5	604	8.1	31,907	18.6
広 告 宣 伝 費	1,757	3.9	2,476	5.4	719	40.9	5,326	3.1
運 賃 ・ 保 管 料	2,314	5.1	2,263	4.9	△ 50	△ 2.2	8,673	5.0
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	16	0.0	—	—	△ 16	—	41	0.0
人 件 費	3,475	7.7	3,548	7.7	73	2.1	13,988	8.1
減 価 償 却 費	434	1.0	426	0.9	△ 8	△ 2.0	1,826	1.1
そ の 他	2,130	4.7	2,019	4.4	△ 111	△ 5.2	8,887	5.2
合 計	18,519	41.0	19,907	43.0	1,387	7.5	74,608	43.4

(注) 百分比は、売上高に対する割合です。

(8) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
	商 品 及 び 製 品	18	21
原 材 料	22	0	151
輸 入 雑 損 失 等	19	9	136
合 計	60	31	373

(9) 支払利息明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
	支 払 利 息	69	56
リ ー ス 支 払 利 息	28	9	108
合 計	97	65	359

(10) 有価証券関係

前第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	9,791	10,254	463
その他	28	26	△ 2
計	9,820	10,281	461

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

満期保有目的の債券で時価のあるもの及びその他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
社債	1,611	1,609	△ 1
計	1,611	1,609	△ 1

2. その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	9,981	10,206	224
その他	24	24	—
計	10,005	10,230	224

前連結会計年度末(平成22年3月31日)

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	9,994	10,837	842
その他	28	28	△ 0
計	10,023	10,865	842

(11) セグメント別売上高

事業の種類		前第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
飲料	外部顧客に対するもの セグメント間取引	22,916		22,936		19	0.1	84,085	
	計	22,916	47.3	22,936	46.6	19	0.1	84,085	45.5
食品	外部顧客に対するもの セグメント間取引	7,044		7,447		403	5.7	28,781	
	計	7,044	14.6	7,447	15.1	403	5.7	28,781	15.6
ギフト	外部顧客に対するもの セグメント間取引	2,218		2,190		△ 28	△ 1.3	7,429	
	計	2,218	4.6	2,190	4.5	△ 28	△ 1.3	7,429	4.0
生鮮野菜	外部顧客に対するもの セグメント間取引	2,279		2,365		85	3.7	6,485	
	計	2,279	4.7	2,365	4.8	85	3.7	6,485	3.5
メディア 通販	外部顧客に対するもの セグメント間取引	1,247		1,500		252	20.3	6,421	
	計	1,247	2.6	1,500	3.1	252	20.3	6,421	3.5
コ ン シ ュ ー マ ー 事 業 計	外部顧客に対するもの セグメント間取引	35,707		36,440		733	2.1	133,202	
	計	35,707	73.8	36,440	74.1	733	2.1	133,202	72.1
業 務 用 事 業	外部顧客に対するもの セグメント間取引	5,742		5,838		96	1.7	23,406	
	計	5,742	11.9	5,838	11.9	96	1.7	23,406	12.6
そ の 他	外部顧客に対するもの セグメント間取引	479		541		61	12.9	1,727	
	計	2,812	6.8	2,779	6.8	△ 32		10,809	
国 内 事 業 計	外部顧客に対するもの セグメント間取引	41,929		42,821		891	2.1	158,336	
	計	44,741	92.5	45,601	92.8	△ 32		10,809	
米 国	外部顧客に対するもの セグメント間取引	2,678		2,640		△ 38	△ 1.4	10,921	
	計	244		21		△ 222		1,627	
欧 州	外部顧客に対するもの セグメント間取引	175		280		104	59.5	732	
	計	99		62		△ 37		445	
ア ジ ア	外部顧客に対するもの セグメント間取引	413		534		121	29.5	1,947	
	計	—		8		8		36	
海 外 事 業 計	外部顧客に対するもの セグメント間取引	3,267		3,455		188	5.8	13,600	
	計	343		91		△ 251		2,110	
セグメント売上高		48,353	100.0	49,148	100.0	795	1.6	184,857	100.0
セグメント間取引		△ 3,156	—	△ 2,871	—	284		△ 12,919	—
連結売上高		45,197	—	46,276	—	1,079	2.4	171,937	—

(注) 1. 金額は消費税等を含めておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
伊藤忠商事㈱	10,021	22.2	10,486	22.7	37,199	21.6

3. 前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、当第1四半期連結累計期間の表示に組替えております。

(12) 四半期損益情報

(単位：百万円)

前連結会計年度	第1四半期 連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	第2四半期 連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	第3四半期 連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	第4四半期 連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	通期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高 (対前年同期増減率)	45,197 (△7.0%)	49,324 (△0.5%)	40,743 (2.4%)	36,671 (△1.3%)	171,937 (△1.8%)
営業利益 (対売上高比率)	2,802 (6.2%)	2,504 (5.1%)	1,275 (3.1%)	△185 (△0.5%)	6,397 (3.7%)
経常利益 (対売上高比率)	3,129 (6.9%)	2,510 (5.1%)	1,467 (3.6%)	195 (0.5%)	7,304 (4.2%)
税金等調整前四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	3,117 (6.9%)	2,412 (4.9%)	1,573 (3.9%)	△1,154 (△3.2%)	5,948 (3.5%)
四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	1,948 (4.3%)	1,324 (2.7%)	886 (2.2%)	△1,178 (△3.2%)	2,981 (1.7%)

(単位：百万円)

当連結会計年度	第1四半期 連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	(*)第2四半期 連結会計期間予想 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	第3四半期 連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	第4四半期 連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	通期予想 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
売上高 (対前年同期増減率)	46,276 (2.4%)	50,724 (2.8%)			177,000 (2.9%)
営業利益 (対売上高比率)	2,682 (5.8%)	1,718 (3.4%)			6,900 (3.9%)
経常利益 (対売上高比率)	2,820 (6.1%)	1,779 (3.5%)			7,300 (4.1%)
税金等調整前四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	3,266 (7.1%)	1,433 (2.8%)			7,400 (4.2%)
四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	1,774 (3.8%)	925 (1.8%)			4,000 (2.3%)

(*) 第2四半期連結会計期間予想は、公表している第2四半期連結累計期間予想から第1四半期連結会計期間実績を差し引いた数値であります。

(13) セグメント売上高及びセグメント利益

<前連結会計年度>

(単位：百万円)

平成22年3月期第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	22,916	7,044	2,218	2,279	1,247	35,707	5,742	479	41,929	2,678	175	413	3,267	-	45,197
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	2,812	2,812	244	99	-	343	△ 3,156	-
計	22,916	7,044	2,218	2,279	1,247	35,707	5,742	3,291	44,741	2,922	275	413	3,611	△ 3,156	45,197
セグメント利益 又は損失(△)	942	747	666	△ 24	50	2,383	352	201	2,937	119	△ 188	△ 66	△ 134	-	2,802
売上高営業利益率(%)	4.1%	10.6%	30.0%	△ 1.1%	4.0%	6.7%	6.1%	6.1%	6.6%	4.1%	△ 68.4%	△ 16.0%	△ 3.7%	-	6.2%

平成22年3月期第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	25,909	7,177	2,932	1,261	2,161	39,439	6,050	444	45,933	2,721	204	467	3,392	-	49,324
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	3,229	3,229	141	159	12	313	△ 3,541	-
計	25,909	7,177	2,932	1,261	2,161	39,439	6,050	3,674	49,162	2,862	363	480	3,704	△ 3,541	49,324
セグメント利益 又は損失(△)	1,513	1,038	△ 320	△ 142	211	2,299	322	134	2,755	53	△ 229	△ 73	△ 250	-	2,504
売上高営業利益率(%)	5.8%	14.5%	△ 10.9%	△ 11.3%	9.8%	5.8%	5.3%	3.6%	5.6%	1.9%	△ 63.1%	△ 15.2%	△ 6.7%	-	5.1%

平成22年3月期第2四半期連結結果計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	48,825	14,221	5,150	3,540	3,408	75,146	11,792	923	87,862	5,399	379	880	6,659	-	94,521
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	6,041	6,041	385	258	12	656	△ 6,697	-
計	48,825	14,221	5,150	3,540	3,408	75,146	11,792	6,965	93,903	5,784	638	893	7,315	△ 6,697	94,521
セグメント利益 又は損失(△)	2,455	1,785	346	△ 166	261	4,682	674	335	5,692	172	△ 417	△ 139	△ 384	-	5,307
売上高営業利益率(%)	5.0%	12.6%	6.7%	△ 4.7%	7.7%	6.2%	5.7%	4.8%	6.1%	3.0%	△ 65.4%	△ 15.6%	△ 5.2%	-	5.6%

(注) 1. <前連結会計年度>については、<当連結会計年度>の表示に組替えております。
2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

<当連結会計年度>

(単位：百万円)

平成23年3月期第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	マイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	22,936	7,447	2,190	2,365	1,500	36,440	5,838	541	42,821	2,640	280	534	3,455	-	46,276
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	2,779	2,779	21	62	8	91	△ 2,871	-
計	22,936	7,447	2,190	2,365	1,500	36,440	5,838	3,321	45,601	2,661	342	543	3,547	△ 2,871	46,276
セグメント利益 又は損失(△)	647	508	606	296	96	2,156	418	148	2,722	191	△ 193	△ 39	△ 40	-	2,682
売上高営業利益率(%)	2.8%	6.8%	27.7%	12.5%	6.4%	5.9%	7.2%	4.5%	6.0%	7.2%	△ 56.4%	△ 7.2%	△ 1.1%	-	5.8%

平成23年3月期第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日～平成22年9月30日）－ 差引予想

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	マイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	27,164	7,653	3,110	935	2,100	40,960	5,962	459	47,379	2,560	220	566	3,345	-	50,724
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	3,421	3,421	9	118	22	149	△ 3,569	-
計	27,164	7,653	3,110	935	2,100	40,960	5,962	3,879	50,799	2,569	338	587	3,493	△ 3,569	50,724
セグメント利益 又は損失(△)	1,653	392	△ 166	△ 346	54	1,584	122	252	1,958	69	△ 147	△ 161	△ 240	-	1,718
売上高営業利益率(%)	6.1%	5.1%	△ 5.3%	△ 37.0%	2.6%	3.9%	2.0%	6.5%	3.9%	2.7%	△ 43.5%	△ 27.4%	△ 6.9%	-	3.4%

平成23年3月期第2四半期連結結果計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）－ 予想

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	マイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	50,100	15,100	5,300	3,300	3,600	77,400	11,800	1,000	90,200	5,200	500	1,100	6,800	-	97,000
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	6,200	6,200	30	180	30	240	△ 6,440	-
計	50,100	15,100	5,300	3,300	3,600	77,400	11,800	7,200	96,400	5,230	680	1,130	7,040	△ 6,440	97,000
セグメント利益 又は損失(△)	2,300	900	440	△ 50	150	3,740	540	400	4,680	260	△ 340	△ 200	△ 280	-	4,400
売上高営業利益率(%)	4.6%	6.0%	8.3%	△ 1.5%	4.2%	4.8%	4.6%	5.6%	4.9%	5.0%	△ 50.0%	△ 17.7%	△ 4.0%	-	4.5%

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

〈増減〉

(単位：百万円)

第1四半期連結会計期間 - 増減

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額	
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計			
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メイ 通販	計										
I 売上高																
外部顧客に対する 売上高	20	403	△ 28	86	253	733	96	62	892	△ 38	105	121	188	-	1,079	
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	△ 33	△ 33	△ 223	△ 37	8	△ 252	285	-	
計	20	403	△ 28	86	253	733	96	30	860	△ 261	67	130	△ 64	285	1,079	
セグメント利益 又は損失(△)	△ 295	△ 239	△ 60	320	46	△ 227	66	△ 53	△ 215	72	△ 5	27	94	-	△ 120	

第2四半期連結会計期間 - 増減

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	1,255	476	178	△ 326	△ 61	1,521	△ 88	15	1,446	△ 161	16	99	△ 47	-	1,400
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	192	192	△ 132	△ 41	10	△ 164	△ 28	-
計	1,255	476	178	△ 326	△ 61	1,521	△ 88	205	1,637	△ 293	△ 25	107	△ 211	△ 28	1,400
セグメント利益 又は損失(△)	140	△ 646	154	△ 204	△ 157	△ 715	△ 200	118	△ 797	16	82	△ 88	10	-	△ 786

第2四半期連結結果計期間 - 増減

	国内事業									海外事業				調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メイ 通販	計									
I 売上高															
外部顧客に対する 売上高	1,275	879	150	△ 240	192	2,254	8	77	2,338	△ 199	121	220	141	-	2,479
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	159	159	△ 355	△ 78	18	△ 416	257	-
計	1,275	879	150	△ 240	192	2,254	8	235	2,497	△ 554	42	237	△ 275	257	2,479
セグメント利益 又は損失(△)	△ 155	△ 885	94	116	△ 111	△ 942	△ 134	65	△ 1,012	88	77	△ 61	104	-	△ 907

(14) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第1四半期 会計期間末 (平成21年6月30日)		当第1四半期 会計期間末 (平成22年6月30日)		増 減 金 額	前事業年度末 (平成22年3月31日)		
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比	
(資産の部)									
I 流 動 資 産									
現金及び預金		8,167		12,993		4,825	5,970		
受取手形		49		—		△ 49	4		
売掛金		26,909		27,315		405	22,920		
有価証券		13,997		22,120		8,123	9,532		
商品及び製品		7,248		7,521		272	5,993		
仕掛品		29		22		△ 6	29		
原材料及び貯蔵品		13,810		12,426		△ 1,383	14,359		
前払費用		3,712		995		△ 2,717	1,898		
繰延税金資産		668		669		1	364		
短期貸付		1,504		1,977		472	1,279		
未収入金		1,500		429		△ 1,071	585		
その他入金		2,739		2,056		△ 682	1,830		
貸倒引当金		91		461		△ 369	34		
		△ 58		△ 42		15	△ 50		
流動資産合計		80,371	56.8	88,946	61.1	8,575	64,752	53.3	
II 固 定 資 産									
有形固定資産									
建物(純額)		9,503		8,923		△ 580	9,042		
取得価額		24,268		24,326		57	24,305		
減価償却累計額		14,764		15,403		638	15,262		
構築物(純額)		1,003		875		△ 128	906		
取得価額		4,016		3,812		△ 204	3,809		
減価償却累計額		3,013		2,936		△ 76	2,903		
機械及び装置(純額)		9,935		8,160		△ 1,774	8,611		
取得価額		51,016		50,137		△ 878	50,400		
減価償却累計額		41,081		41,976		895	41,789		
車両及び運搬具(純額)		5		4		△ 0	5		
取得価額		87		88		1	88		
減価償却累計額		81		83		1	83		
工具、器具及び備品(純額)		536		470		△ 65	497		
取得価額		4,477		4,567		90	4,547		
減価償却累計額		3,940		4,096		156	4,050		
土地		5,161		5,161		△ 0	5,161		
リース資産(純額)		1,234		1,051		△ 183	1,100		
取得価額		2,665		2,379		△ 286	2,448		
減価償却累計額		1,430		1,327		△ 102	1,347		
建設仮勘定		154		197		43	88		
有形固定資産合計		27,535	19.4	24,844	17.1	△ 2,690	25,412	20.9	
無形固定資産									
借地権		155		155		—	155		
商標		102		72		△ 30	79		
ソフトウエア		1,635		1,514		△ 120	1,615		
その他		45		44		△ 0	44		
無形固定資産合計		1,938	1.4	1,786	1.2	△ 152	1,895	1.6	
投資その他の資産									
投資有価証券		12,253		12,679		426	12,896		
関係会社株		9,987		6,125		△ 3,862	6,125		
出資		15		15		—	15		
関係会社出資金		1,142		1,799		657	1,142		
関係会社長期貸付		6,280		7,573		1,293	7,575		
破産更生債権等		3		19		16	19		
長期前払費用		102		89		△ 12	110		
繰延税金資産		719		794		74	534		
保険積立		273		249		△ 23	249		
敷金		655		653		△ 1	655		
その他入金		464		459		△ 5	459		
貸倒引当金		△ 134		△ 437		△ 303	△ 441		
投資その他の資産合計		31,763	22.4	30,023	20.6	△ 1,739	29,343	24.2	
固定資産合計		61,236	43.2	56,655	38.9	△ 4,581	56,651	46.7	
資産合計		141,608	100.0	145,601	100.0	3,993	121,403	100.0	

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第1四半期 会計期間末 (平成21年6月30日)		当第1四半期 会計期間末 (平成22年6月30日)		増 減 金 額	前事業年度末 (平成22年3月31日)		
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比	
(負債の部)									
I 流 動 負 債									
支払手形		605		232		△ 373	204		
買掛金		14,477		13,985		△ 491	10,038		
短期借入金		10,000		20,000		10,000	—		
一年以内返済予定の長期借入金		5,200		695		△ 4,505	650		
リース負債		2,400		2,746		346	2,746		
未払金		512		500		△ 11	473		
未払費用		8,894		9,200		305	7,193		
未払法人税等		379		445		66	454		
未払消費税等		1,055		1,210		155	2,591		
預り金		381		394		12	548		
前受収益		188		265		76	96		
賞与引当金		5		17		11	7		
役員賞与引当金		810		828		17	1,712		
設備関係支払手形		—		—		—	45		
設りパティブ債		60		67		6	89		
その他		840		2,554		1,713	839		
流動負債合計		19		203		184	153		
II 固 定 負 債		45,830	32.4	53,345	36.6	7,515	27,844	22.9	
長期借入金		4,500		3,311		△ 1,189	3,411		
退職給付引当金		702		613		△ 89	693		
債務保証損失引当金		2,151		2,144		△ 7	2,074		
受入敷金の保証金		—		247		247	247		
その他		333		314		△ 18	319		
固定負債合計		243		281		37	273		
負債合計		7,931	5.6	6,911	4.8	△ 1,019	7,017	5.8	
(純資産の部)									
I 株 主 資 本									
資本金		19,985	14.1	19,985	13.7	—	19,985	16.5	
資本剰余金		23,733	16.8	23,733	16.3	—	23,733	19.6	
資本準備金		23,733		23,733		—	23,733		
利益剰余金		44,597	31.4	43,223	29.7	△ 1,374	43,020	35.4	
その他利益剰余金		1,193		1,193		—	1,193		
特別償却準備金		43,404		42,030		△ 1,374	41,827		
固定資産圧縮積立金		10		0		△ 10	0		
固定資産圧縮特別勘定積立金		867		806		△ 60	806		
株式消却積立金		—		61		61	61		
トマト翁記念基金		3,256		3,256		—	3,256		
退職給与積立金		50		50		—	50		
配当準備積立金		175		175		—	175		
別途途準備積立金		330		330		—	330		
繰越利益剰余金		33,810		33,810		—	33,810		
自己株式		4,905		3,540		△ 1,365	3,337		
株主資本合計		△ 202	△ 0.1	△ 206	△ 0.1	△ 3	△ 205	△ 0.2	
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		88,114	62.2	86,735	59.6	△ 1,378	86,533	71.3	
その他有価証券評価差額金		234	0.2	133	0.1	△ 101	508	0.4	
繰延ヘッジ損益		△ 501	△ 0.4	△ 1,525	△ 1.1	△ 1,023	△ 501	△ 0.4	
評価・換算差額等合計		△ 267	△ 0.2	△ 1,391	△ 1.0	△ 1,124	7	0.0	
純 資 産 合 計		87,846	62.0	85,344	58.6	△ 2,502	86,540	71.3	
負 債 純 資 産 合 計		141,608	100.0	145,601	100.0	3,993	121,403	100.0	

(注)この四半期個別貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(15) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期 累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期 累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		増 減		前事業年度に係る 要約損益計算書 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	I 売 上 高	41,509	100.0	42,037	100.0	528	1.3	156,506
II 売 上 原 価	21,125	50.9	20,605	49.0	△ 519	△ 2.5	79,189	50.6
売 上 総 利 益	20,384	49.1	21,431	51.0	1,047	5.1	77,317	49.4
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,704	42.6	19,048	45.3	1,344	7.6	70,422	45.0
営 業 利 益	2,680	6.5	2,383	5.7	△ 296	△ 11.1	6,894	4.4
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息	39		45		6		169	
有 価 証 券 利 息	10		27		17		85	
受 取 配 当 金	201		204		3		361	
賃 貸 収 入	62		62		△ 0		249	
為 替 差 益	25		—		△ 25		—	
雑 収 入	132		74		△ 57		422	
営 業 外 収 益 合 計	470	1.1	414	1.0	△ 56	△ 12.0	1,289	0.8
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息	41		33		△ 7		165	
賃 貸 収 入 原 価	34		35		0		155	
為 替 差 損	—		83		83		38	
雑 支 出	38		20		△ 17		138	
営 業 外 費 用 合 計	114	0.3	173	0.5	59	51.6	498	0.3
経 常 利 益	3,036	7.3	2,624	6.2	△ 412	△ 13.6	7,685	4.9
VI 特 別 利 益								
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	—		13		13		1	
固 定 資 産 売 却 益	—		0		0		131	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—		449		449		—	
特 別 利 益 合 計	—	—	463	1.1	463	—	132	0.1
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	6		14		7		136	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	4		—		△ 4		7	
関 係 会 社 株 式 評 価 損	—		—		—		3,866	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	—		—		—		294	
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	—		—		—		247	
関 係 会 社 支 援 損	40		23		△ 17		134	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	—		—		—		14	
特 別 損 失 合 計	52	0.1	37	0.0	△ 14	△ 28.1	4,701	3.0
税 引 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	2,984	7.2	3,049	7.3	65	2.2	3,117	2.0
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,044		1,368		323		2,529	
法 人 税 等 調 整 額	—		△ 13		△ 13		225	
法 人 税 等	1,044	2.5	1,354	3.3	310	29.7	2,755	1.8
四 半 期 (当 期) 純 利 益	1,939	4.7	1,694	4.0	△ 245	△ 12.6	362	0.2

(注) この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

当資料お取扱い上の注意点

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的
事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの
経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見
通しのみには全面的な依拠することは控えるようお願い致しま
す。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績
見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきくだ
さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、以下のよ
うなものが含まれます。すなわち、 天候、特に夏場の低温
異物混入等の製品事故 カゴメの事業領域を取り巻く経済情
勢、特に消費動向 変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激
しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品
やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などで
す。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるも
のではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く
理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めす
るためのものではありません。さらに当資料に記載されている
市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正
確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の
予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なし
に変更することがありますので注意ください。